

研究主題

未来を拓く国語教育の創造

—評価活動の充実を通して、学びの質を高める単元づくり—

書くこと部 研究主題

児童の深い学びを目指す、主体的・対話的な書くことの単元づくり

第4学年国語科学習指導案

単元名

知ってほしい！東京産の食材

—調べたことを基に、自分の考えと事例を関連付けて書こう—

日時：令和4年2月18日(金)5校時

児童：文京区立千駄木小学校 第4学年1組38名

担任：文京区立千駄木小学校 主任教諭 田中 智子

指導者：葛飾区立南綾瀬小学校 主任教諭 椎名 景子

1 単元の目標

- (1) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解したり、比較や分類の仕方を理解し使ったりすることができる。 [知識及び技能]
- (2) 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解している。 (2)ア ○比較や分類の仕方を理解し使っている。 (2)イ	○相手や目的を意識して、調べたことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 B(1)ア ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えたりしている。 B(1)イ	○学習の見通しをもち、調べたことを基に自分の考えを書き、文章に対する感想や意見を伝え合ったり考えを深めたりしようとする。

3 単元構想

(1) 児童について（児童観）

児童は、これまで「始め・中・終わり」の構成を意識して文章を書いたり、調べたことや経験したことを書いたりする学習をしてきている。本単元では、これまで学習したことを基に、おすすめしたい理由とその根拠となる事例を挙げて、段落相互の関係に注意して書く力を身につけさせたい。調べたことをまとめるだけでなく、集めた情報の中から伝えたいことに合った情報を選んだり、「中」に挙げる事例を見直したり、自分の考えがより伝わるように段落相互のつながりを意識しながら書く力を高めたいと考える。

(2) 学習材について（学習材観）

本単元は、みんなに知ってほしい東京産の食材について、自分の考えと事例を関連付けて報告する文章を書く学習である。

本単元では、「食べてみたい。」「初めて知った。」「驚いた。」など、児童が東京産の食材についておすすめしたいという想いが伝わるような文章を書かせたい。本単元で書かせたい文章は、「はじめ」「中」「終わり」で構成された文章である。「はじめ」には、みんなに知ってほしい東京産の食材とその食材をおすすめする理由、「中」には、伝えたいことに合った事例、「終わり」には、読み手への呼びかけを書く。文章全体の字数は600字前後で書くようにする。

「中」には、特徴や栄養価、歴史、生産者の思い、自分たちと食材のつながりなど、おすすめする理由が具体的にわかる事例を書く。調べたことだけでなく、伝聞やインタビューしたこと、体験（実際に食べたことなど）も事例として書くことができれば、おすすめしたいという想いがより伝わる文章になると考える。

「中」の事例は2つ、または、3つとする。読み手に伝わるよう書くためには、どの事例を挙げたらいいか、事例をどういう順番にしたらいいかなどを考えさせることで、考えを明確にした文章を書かせたい。

(3) 単元について（単元観）

4年生は、社会科で東京都の特色、八丈島の産業や特産品、玉川兄弟を通して先人の知恵や工夫、現代の人々の思いや願いなど、東京都について学習している。

東京都は都会というイメージがあるが、東京産の食材はたくさんある。野菜、果物をはじめ、牛肉や豚肉、鶏肉、牛乳、魚、酒など様々な食材があり、江戸時代から栽培されている伝統野菜、都会に近いため鮮度のよい食材などもある。知れば知るほど様々な発見があり、児童は東京産の食材に魅力を感じるだろう。本単元を通して、東京産の食材をもっと知り、興味、関心をもってほしい、食べてほしい、自分たちの地域を大切に思う気持ちをもってほしいと考える。

学校では、東京産の食材を使った給食が出る。0次では、東京産の食材を使った献立を紹介している給食だよりや給食室からの一言をきっかけに、児童に東京産の食材に目を向けさせたい。

一次では、まず、東京産の食材には、どんな食材があるのか調べ、その中から、おすすめしたい食材の一つを選ぶ。たくさんある食材の中から一つを選ぶことで、児童はなぜその食材を選んだのか理由を明確にし、読み手に伝えたいという想いを深めたりしていくと考える。

二次では、まず、おすすめしたい東京産の食材について調べ、情報カードにメモする。調べる際、資料やインターネットを使って調べるだけでなく、実際にその食材を食べた体験、生産者や食べた人から聞いたこと、自分たちと食材のつながりなど、その児童ならではのことを情報カードにメモさせるようにしたい。次に、情報カードの中から、おすすめする食材とその理由の事例になる情報カードを2、3つ選ぶ。その際、いくつもある情報カードの中から、自分が伝えたいことに合った情報カードを選ぶようにする。構成では、「初め・中・終わり」がつながるように、考えさせたい。必要に応じて、事例となる情報カードをかえたり、取材に戻って情報を集め直したりする。

単元の終末には、完成した作品を友達と読み合う活動を設定する。作品のよさを伝え合って書きぶりを学んだり、友達の作品を読んで東京産の食材を広げたりさせたい。また、学校内に掲示して全校児童に読んでもらったり、給食だよりなどに載せてもらい保護者や地域の方に読んでもらったりする。

4 研究主題に迫るために

(1) 学びの質の向上を図る単元の工夫

① 児童の実態に応じた学びの必然性がある課題

児童は、社会科の学習で東京都について学んでいる。東京都への興味、感心が深まっている児童にとって、東京産の食材を調べ、おすすめする食材について報告する文章を書いて友達と読み合うことは、学びの必然性のある課題だと考える。本単元の学習を通して、東京都について新たな発見があり、東京都のことをよく知るきっかけにもなると考える。また、地産地消が広がり、学校給食で東京産の食材が使われている昨今、自分たちが住む東京都の食材について知ることは、児童にとって学びの必然性のある課題である。

② 豊かな語彙の充実

本単元では、読み手におすすめする想いが伝わるように、書くことの内容を明確にして、段落相互の関係に注意して文章の構成を考えることを目指す。そのために、伝えたいことに合った言葉や書きぶりを考えさせたり、取材に立ち返って書くことに必要な事柄を集め直したり、「中」に挙げる事例を見直したりするなど、

取材と構成を柔軟に行き来するように指導する。

③学習の成果物等の活用・共有

本単元では、完成した作品を校内に掲示して、全校児童に読んでもらう。また、学校だよりや給食だよりなどに作品を載せてもらい、保護者や地域の方にも読んでもらう。作品を目にする機会が増えることで、児童は自分の文章を振り返ったり、友達の文章のよさに気付いたりする。また、学習の成果である完成した作品が実の場で活用されることで、児童は書いてよかった、また書きたいという成就感や達成感をもつ。これらのことが、これからの学習に活かすことができると考える。

(2) 学習改善・授業改善につながる評価活動の工夫

①言語活動の特徴や学習状況に応じた評価活動

座席表を活用することで、前時までの児童の実態と本時の支援を明確にするとともに、即時評価を可能とする。また、児童のワークシートや振り返りカードに毎時間目を通すことで学びの実態を把握し、次の時間の指導や支援に活かすことができるようにする。

②児童が自らの学びを振り返り、調整できる学習過程

学習計画表を作成することで、児童が単元全体の見通しをもちながら学習に取り組むことができるようにする。また、学習計画表と振り返りが一体化されている表を活用することで、自己の学びを振り返って次につなげる姿が期待される。なお、振り返りを書く際は、めあてに対する明確な視点をもたせる。また、次の時間の導入時に前時の振り返りを紹介することで、その時間のめあてにつなげる。

③児童が学びの変容を自覚できる自己評価、相互評価

単元の評価規準を具体的にした指導事項を、チェック項目として児童に示す。【資料⑨参照】チェック項目があることで、児童は何をすればよいのか、今何ができて、何が足りないのかなど、自己の学びを調整しながら学習を進めることができると考えた。

(3) 言葉の力の活用を意識した学習活動の工夫

①他教科との関連

4年生は、社会科で分かったことや考えたことを、絵や写真などの資料を入れて、新聞やポスターなどにまとめる学習をしている。本単元では、資料の活用や記事に見出しを入れることなど、他教科で学んだことと関連させることで、本単元で書こうとしている文章につながると考える。

②系統性を意識し、力の活用を図る学習活動

児童は、これまでに報告する文章を書く活動、文章と写真を照応して書くこと、伝えたいことに合った例を挙げて書くことなどを学習してきた。中学年のまとめの時期にあたり、本単元では、これまでの学習内容が入った文例を提示してそれらに着目させることで、児童は、これまでの学習内容を生かして書くことができると考える。また、読み手がおすすめする理由に納得するように書くことを目指すことは、読み手側にとって相手意識をもち、高学年の意見文の学習につながると考える。

5 単元計画（7時間扱い）

過程 (次)	時	学習活動	指導事項	◆評価規準 ★評価方法 ○指導上の留意点
○		<ul style="list-style-type: none"> 給食一言メモを読み、食材についての興味・関心を高める。 東京産の食材を使った献立について、栄養士から話を聞く。(献立への思い、農家とのつながり、地産地消など) 東京産の食材に関する本や資料を読み、東京都で生産される食材について知る。 		
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ① 文例を読み、「東京産の食材」について報告する文章を書くという目的をもつ。【資料①②参照】 ② 学習計画を立て、見直しをもつ。東京産の食材にどのようなものがあるのか調べる。【資料③④参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 学習への見直しをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文例を読み、東京産の食材について、自分の考えと事例を関連付けて書く活動であることを確かめさせる。 ○ 本や資料等で東京産の食材を調べ、どんな食材があるのか確認させる。 ◆ 文例を読み、自分も書きたいという思いをもって書こうとしている。 ★ 発言・ワークシート
二	2	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分がおすすめる東京産の食材を決める。【資料⑤参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 書く事柄を決めること。【題材の設定】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本や資料等で東京産の食材について調べ、どんな食材があるのか確認させる。 ○ おすすめる理由も意識させる。 ◆ 調べた東京産の食材の中から、みんなにおすすめる食材を決めている。 ★ 行動観察・ワークシート
	3 課外	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分がおすすめる東京産の食材について調べ、書く材料を集める。 ② おすすめる理由を考える。【資料⑥⑦参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や資料から、情報を集めること。【情報の収集】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のおすすめる食材について調べ、様々な視点から情報を集めさせる。 ○ 友達と交流して、必要な情報が他にもないか確かめさせる。 ○ おすすめる理由を意識させる。 ○ 自分の考え(おすすめるしたい、知ってもらいたい)を支える事例という意識をもって、情報を集めさせる。 ◆ おすすめる食材について、必要な情報を集めている。 ★ 行動観察・ワークシート(情報カード)
	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ① 文例をもとに、構成シートの書き方を知る。 ② 情報カードをもとに、文章の構成を考える。【資料⑧-1 ⑧-2参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を取捨選択する。 自分の考えが伝わるように、文章の構成を考えること。【構成の検討】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文例を提示し、どのようなことが、どのような順番で書いてあるのかを確かめさせる。 ○ 始め・中・終わりの構成がわかるワークシートを用意する。 ○ 情報カードの内容を、構成シートに転記させる。 ◆ 自分の考えが伝わるように文章の構成を考えている。 ★ 行動観察・ワークシート(構成シート)

	5	<p>①構成シートをもとに、東京産の食材をおすすめする文章を書く。(600字前後)</p> <p>②書いた文章を読み返す。</p>	<p>・書こうとしたことが明確になるように、文章の書き表し方を考えること。</p> <p>【考えの形成・記述】</p>	<p>○自分の考えとその理由や事例を関連付けて書くように意識させる。</p> <p>○「終わり」には、読み手への呼びかけを書くようにさせる。</p> <p>○記述が終わった児童は、自分で読み返して間違いを正せるように視点を提示する。</p> <p>◆伝えたいことが明確になるように書き表し方を工夫している。</p> <p>★行動観察・ワークシート</p>
	6	<p>①書いた文章を読み返す。</p> <p>②書いた文章を友達と読み合い、感想や意見を伝える。</p> <p>③伝え合った感想や意見をもとに、文章を清書する。</p>	<p>・書き終えた文章を読み返し、間違いを直すこと。</p> <p>【推敲】</p>	<p>○自分の考えとその理由や事例を関連付けて書いているかということを意識させる。</p> <p>○読み合う視点を提示しておく。</p> <p>◆書き終えた文章を読み返し、間違いを表したり、よりよくしたりしようとしている。</p> <p>★行動観察・ワークシート・作品</p>
三	7	<p>①完成した作品を友達と読み合い、良さを伝え合う。</p>	<p>・友達が書いた文章の良いところを見つけたこと。【共有】</p>	<p>○自分の考えとその理由や事例を関連付けて書かれているかどうか伝え合うように助言する。</p> <p>○読み合う活動を通して、自分の文章の良さにも気付くようにさせる。</p> <p>◆書いた文章を読み合い、よいところを見付け、感想を伝え合っている。</p> <p>★行動観察・ワークシート、作品</p>
実 の 場		<p>・作品を他クラスの友達と読み合う。</p> <p>・学校だよりや給食だよりに載せ、地域の人に読んでもらう。</p>		

6 本時の学習 (4/8 時間)

(1) 本時のねらい

自分の考えと事例とを関連付けて、文章の構成を考えることができる。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
<p>1. 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="201 327 518 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【情報カード】 味、色、形などの特徴 産地、歴史、栄養価、 生産者の思いなど</p> </div>	<p>○前時までの学習と、情報カードについて振り返らせる。</p> <p>○みんなに知ってほしい東京産の食材について報告する文章を、自分の考えと事例とを関連付けて書く学習活動であることを再度確認する。</p> <p>○本時では、集めた情報の中から、理由がよく分かる事例を選び、構成を考えると、構成を考え終わった児童は友達と交流することを伝え、学習のイメージをもたせる。</p>	
<p>【本時のめあて】自分の考えと関連付けた事例を情報カードから選び、文章の構成を考えよう。</p>		
<p>2. 構成シートの例を基に、自分の考えと事例を関連付けた組み立て方を考えるコツを話し合う。</p> <p>3. 構成を考える。【構成の検討】</p> <p>4. 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○構成シートの例を通して、自分の考えと事例を関連付けた構成を考えさせる。</p> <div data-bbox="603 891 1037 1030" style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい理由が挙げられているか。 ・理由がよく分かる事例が挙げられているか。 ・理由と事例が関連付いているか。 <p>について意識させる。</p> </div> <p>○おすすめする理由を明確にし、構成シートの「始め」に書かせる。</p> <p>○伝聞、インタビュー、体験などを書くことで、より説得力をもたせられることを知らせる。</p> <p>○おすすめする理由に合った情報を、事例として選ぶ。</p> <p>○選んだ事例をどの順番で書くかを考え、構成シートの「中」に書かせる。</p> <p>○事例ごとに見出しを考えさせる。</p> <p>○終わった児童は、友達と交流して、自分の考えが伝わる構成になっているかどうか確認させる。(交流の観点を示す。)</p> <p>○本時の学習のめあてが達成できたかどうか、本時の学習でできたことやがんばったこと、分かったことなどを書くように声をかける。</p>	<p>◆自分の考えが伝わるように文章の構成を考えている。(★構成シート、チェックシート)</p> <div data-bbox="1090 1193 1452 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○概ね満足できる児童への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報カードを読み返して、理由と事例を関連付けることを意識させる。 ・体験したことや自分と食材とのつながりを考えさせる。 <p>○概ね満足できる状況を目指す児童への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめする理由を確認し、どの情報からそう思ったのか考えさせる。 </div>